

知っていますか？

特集

桑名のいちごって、おいしい！

長島地区を中心に、市内にいちご農家が増えているのをご存じですか。さらに、「桑員いちご研究会」では、いちご栽培のノウハウを共有し、より良いいちご作りに励んでいます。今月は、収穫期を迎えている桑名産いちごについて取材しました。

問 この記事については秘書広報課(☎24-1492 FAX 24-1119)

いちごの産地というと、栃木県(とちおとめ)、福岡県(あまおう)が有名。中部地方では愛知県や静岡県の名前がよく挙げられます。桑名のいちごは、出荷量は多くないものの、「おいしいいちごを、地元の人たちに届けたい!」とアツい思いを抱いた農家さんがいっぱい。研究会を結成し、栽培状況を共有したり、悩みを相談したりして、より良いいちご作りに励んでいます。収穫は冬から始まりますが、いちご作りは夏からスタートしています。真夏のハウス内はまさに灼熱地獄ですが、農家さんたちはおいしいいちごができるよう、準備をしていたのです。



12月ごろから収穫へ量は少なくとも味に自信!

甘酸っぱい味と赤くキュートな姿が人気の「いちご」。春から初夏にかけてが本来の旬ですが、ハウス栽培が中心のため、寒くなってくるとスーパーでも姿を見かけます。12月はクリスマスケーキに引っぱりだこ!市内でも、12月から収穫を始めるいちご農家さんが多いそうです。

おいしいいちごができるまで



「開花」したらミツバチの出番です

いちごは白くかんな花をつけます。花が咲き始めたらミツバチの巣箱をハウス内に設置し、受粉させます。その間も古い葉を取り除くなど、手入れを続けます。受粉すると花の部分に実がなり、1カ月半~2カ月で収穫できるようになります。



育った苗を「定植」します

彼岸花が咲くころになると、苗を定植します。養分や水分を吸収しやすい茎の太い苗を優先的に植え付けていきます。葉の様子を見てきちんと定植できているかを確認したり、病気や害虫に注意したりしながら育てていきます。



親株から子苗を切り離して「育苗」します

収穫が終わり夏になると、親株から伸びるランナー(細い茎)から苗を採取するために親株を植え付けます。ランナーが出てきたらポットに植え、切り離していきます。うまく育たないことなどを見通して、必要な苗数より1割ほど多めに育てます。

完成!



目次 contents

- 02 年頭のあいさつ
- 04 伸びゆくまち・桑名 第26弾 新たな道路やスマートICの整備を進め、さらなる企業誘致推進へ
- 06 キラリ★くわな人 ワールドレポート
- 07 特集 知っていますか? 桑名のいちごって、おいしい!
- 12 チャレンジできる場所、探しています
- 14 オンデマンドバス「のーと桑名」
- 16 子育て広場 図書館・六華苑・博物館
- 18 メディカルニュース くわな防災教室

- 19 かんたん旨レシピ みんなの掲示板
- 20 EVENT ALBUM(イベントアルバム)
- 22 くわなINFO
- 30 無料相談
- 31 市政功労表彰 市長まちなか探索
- 32 HAPPY BIRTHDAY 桑名のイトコ教えてください。

今月の表紙

長島地区を中心に栽培されている桑名のいちご。農家さんたちは桑名がいちごの産地として、大きくなっていくことをめざし、切磋琢磨していちご作りに励んでいます。



キラリ★くわな人



㈱NATIVE SAKE 代表
ドバイ在住
前田 阿希子さん

桑名市出身で、元毎日放送アナウンサーの前田さんは、アラブ首長国連邦のドバイで酒ソムリエをしている旦那さんと結婚を機にドバイに移住しました。アナウンサー時代に番組を通して日本酒が好きになり、知識を深めようと資格を取る講座で旦那さんと出会い意気投合。この人となら新たな一歩を踏み出せそうだし、ドバイの移住を決めたそうです。

現在、2児の母でありながら、大好きな日本酒をドバイの人にも飲んでもらいたいと、日本酒の輸出斡旋会社を立ち上げ活躍されています。

前田さんが住むドバイの街並み

ワールドレポート

世界をまたにかけて活躍している、桑名市出身者に各国の様子を教えてください。

れています。

「ドバイはものすごく親日で日本人に対して親切です」「公用語はアラビア語ですが、ドバイはいろんな国の人たちが集まっているので、英語でほとんどの人と会話が出来ます」。また、「急速に発展している国ですので、活気があつてすごく魅力的な街です」「日本人からするとドバイは観光のイメージが強いと思いますが、住んでみるととても住みやすい場所です」とドバイの生活について教えていただきました。

今度も前田さんからドバイの雰囲気やドバイから見

た日本につ

いてなどを

不定期にお

届けしてい

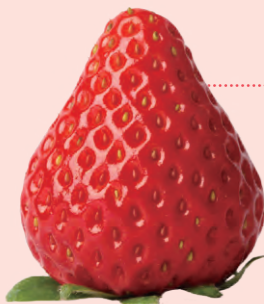
きます。お

楽しみに。



章姫(あきひめ)

長い円すい形をしていて、酸味が少なく甘味を強く感じられるのが特徴。静岡で誕生し、主に東海エリアで栽培・消費されています。



紅ほっぺ

章姫とさちのかを掛け合わせて誕生した品種。甘味と酸味、どちらも強く、いちご本来の甘酸っぱさが味わえます。



よつぼし

2017年に品種登録されたばかりのニューフェイス。甘味が強く、程よい酸味があり、いちごの甘酸っぱさを存分に楽しめます。

桑名のいちご図鑑

桑名市内で栽培されている、いちごの主な品種をご紹介します。



(左から)大粒いちごがどんと乗った「春うららパフェ」、桜の塩気といちごの甘酸っぱさが絶妙なハーモニーを奏でる「いちご桜餅」、柔らかなお餅と白あんが大粒いちごを包み込む「いちご大福」。

私が桑名のいちごを使う理由

地元のいちごを使ってお菓子作りに励むお店を紹介します。



店主 藤本 安貴さん

ゆめの菓 あきぞう
住所 西鍋屋町58
時間 10:00~17:30
※カフェは11:00~17:00
☎22-3606

看板メニューの「かりんとう饅頭」をはじめ、老若男女を問わず親しみやすい和菓子を製造・販売している「ゆめの菓 あきぞう」。1月中旬ごろになると、桑名産いちごを使った季節限定メニューが登場します。もともとは大産地である愛知県のいちごを仕入れていたそうですが、「いちごのおいしさは鮮度。できるだけ摘んだばかりのいちごを使いたい」と、のらくら農園から直送されるいちごを使うように。「配達されるいちごを見ると、クッションの上になきれいに並べられていて、農家さんのいちごへの愛情をひしひしと感じます」と藤本さん。地域に愛され、「近くにあったらいいなあ」と思われるお店作りに励んでいます。



桑名地区のいちご農家たちが結成した「桑員いちご研究会」とは？

桑名市、いなべ市のいちご農家9人が参加する「桑員いちご研究会」。その目的は「おいしいいちごを作ること」です。代表を務める服部政史さんは、桑名市で「服部さんちの美味しい苺」農園の二代目。研究会発足前は市内で数少ないいちご農家で、いちごの新規就農者へ栽培ノウハウを教えたり研修を行ったりしていました。

「いちご作りをゼロからスタートさせた父を手伝う形で、いちご栽培に携わるようになったのですが、なんせ周りにいちご農家がいなかったため、試行錯誤の連続でした。愛知県まで行って栽培状況を見せてもらったり、教えてもらったり…。自分が苦労した分、新しくいちご栽培を始めるという人には苦労してほしくないと思っていました」と服部さん。ただ、いちご栽培は正解がないとも言います。収穫量を優先するのか、どんな味をめざすのかによって、栽培方法は異なるからです。しかし、研究会では自分が試してよかった方法や、肥料などの効果を共有し、自分一人が抱えていた悩みを相談して不安を解消。お互いに切磋琢磨しながら、桑名がいちごの産地として大きくなっていくことをめざしています。



上田さんも、服部さんから研修を受けた一人です。

「のらくら農園」の土耕栽培を行う

脱サラしていちご農家を始めた「のらくら農園」園主の上田周平さんは、研究会では唯一の土耕栽培を続けるいちご農家です。研修先が土耕栽培であったことに加え、「先人たちが耕し続けてきたこの土地を生かしたい」という思いや、地温を有効活用できるため暖房を使う必要がないこと、収穫後の株などをそのまま土に返せるので、より良い土作りができる点から土耕栽培を選んでいるそうです。「土耕栽培は常にかがんで農作業をしなくてはならず、大変そう」というイメージがありますが、上田さんは「ゼーンゼンそんなことはないです！ときっぱり。座ったまま収穫などができる作業台車を活用し、体への負担を軽減しています。」

「いちごの地産地消をめざして、地元の皆さんに美味しいいちごを届けた」と意気込む上田さんは、今はいちご栽培をメインに、桑名ならではの野菜である「なばな」も栽培中。なばなを使ったカレーなど、加工品なども作って農業でワクワクする未来を生み出しています。



インド帰りの友人も「懐かしい味」と話す「なばなサグカレー」。



4輪の作業台車で畝と畝の間を移動します。

桑名いちご農園一覧

市内にあるいちご農園をご紹介します。

TOMO & BERRY ひまわりいちご園



白いいちご「桃薫(とうくん)」を昨年から栽培。桃の香りが特徴で、ひと味違う風味が楽しめます。

住所 長島町松蔭341 代表 伊藤 智行
☎090-4215-0701

直売所 あり 詳細はHPへ
取扱店 直売所



服部さんちの美味しい苺



章姫や紅ほっぺを栽培中。いちごは摘みたてが一番おいしいです。ぜひ現地でご堪能ください。

住所 長島町小島312 代表 服部 政史
☎42-2377

直売所 あり 詳細はHPへ HP
取扱店 Aコープ長島店、なばなの里 花市場 ファーマーズマーケット、ニューハートピア温泉、柿安本店



ナガシマファーム



酸味が少なく甘みがしっかり味わえる章姫をたっぷりご堪能ください！

住所 長島町松蔭443-1 代表 川原 章
(写真は田中 孝樹さん) ☎45-1515

直売所 あり 詳細はHPへ
取扱店 直売所



のらくら農園



桑名産の竹炭や米ぬかを使って土づくりを行い、家族で愛情持って育てています。皆さんに美味しいいちごを食べてほしいです！

住所 長島町大倉1-522(直売所) 代表 上田 周平
☎070-5407-3925

直売所 あり 詳細はHPへ HP
取扱店 オンラインショップ、Aコープ長島店、なばなの里 花市場 ファーマーズマーケット



多度グリーンファーム



全25品種を栽培しています。減農薬や暖房費0もこだわりです。おいしいいちごをぜひ食べに来てください。

住所 多度町御衣野4132 代表 横井 真人
☎48-7447

直売所 あり 詳細はHPへ
取扱店 直売所



湾岸ベリーファーム



よつばしやほしうららなど、他ではあまり見かけない品種も栽培しています。食べたらびっくりしますよ！

住所 長島町白鷺203 代表 山下 祐
☎090-7673-3849

直売所 あり 詳細はHPへ HP
取扱店 直売所、JAみえきた米ひろば、オンラインショップ



菅井さん(左)と服部さん(右)。今は服部さんの農園を手伝いながら、自身の農園へも足を運ぶ毎日です。

農業従事者の減少は全国各地で課題となつていますが、市内では新たないちご農家も誕生しています。菅井乃統さんは、昨年4月から「すがいベリー」で2000株のいちごの苗栽培をスタートさせました。家族で同じ仕事に取り組むことで、家族の時間を作りやすいと思つたことがきっかけで、大学卒業と同時に農家を志して準備をスタートさせました。まず市の農林水産課などに相談へ。情報収集するうちに、単価が高く利益を上げやすいいちご農家が良いのでは、と考えるようになったそうです。営農計画(生産・販売・資金についての計画)を作成しつつ、服部さんの農園で研修をスタート。「農業に初めて関わりましたが、『思つたよりも力仕事がない』と感じました」と菅井さん。また、9月下旬の定植を終えればまとまった休みをとることもできるため、旅行へ行けるのもうれしい誤算でした。一方で、「桑員いちご研究会」でいろいろな農園を見て回ると、いちご栽培の奥深さを体感しています。現在は市が認定する「認定新規就農者」をめざして奮闘中。認定を受けることで、補助金申請ができるようになるなど、メリットが多数あるからです。

肝心の生育状況は？と伺うと、「あまり生長がうまくいっていない」と苦笑い。服部さんのアドバイスを聞きながら、試行錯誤しているそうです。「いつかは海外へ、自分の育てたいいちごを届けて食べてもらいたい」と夢を大きく抱いています。

いちごの新規就農者が増加中！その理由は？

市内で新しく就農した人を紹介します。

農家になりたいと思ったら

1 何の作物を作りたいか決める

市内ではいちごをはじめ、米、トマト、なばな、みかん、タケノコ、茶などが多く栽培されています。トマトとなばなは、地域の特産物として定着しています。立地条件によっても生育状況が左右されるため、農地の確保とともに決定するのが望ましいでしょう。栽培技術の習得方法は、三重県農業大学校で学んだり、農業法人に勤めながら研修を受けたりする方法があります。

2 農地を確保する

市内には多度地区を中心とした丘陵地帯と、長島地区など水郷地帯に多くの農地があります。実家などの農業や、既存農家の経営を継ぐ場合は特に必要ありませんが、新しく農地を借りるには営農技術があることはもちろん、ある程度の初期費用が必要です。特にハウス栽培には土地の賃借料に加え、ハウスの骨材など設備費用がかかるため、営農計画と共に考える必要があります。

3 営農計画を立てる

多くの人が頭を悩ませる問題・営農計画。農業はすぐに作物を収穫できず、収入のない時期があるので、当面の生活費の確保も必要です。初期費用の確保には、国などの補助金や公的な融資制度を活用することも。まずは市の農林水産課へ相談してみましょう。



いちごの高設栽培の場合、ハウスの骨材や被覆材、暖房設備などのイニシャルコストと、肥料などランニングコストがかかります。